



鈴鹿回生病院 研修医 2 年目 伊達 雄大

短い期間の中で多くの初めての経験、貴重な経験を積むことができました。訪問診療や診療所での診察は地域医療研修ならではの経験でした。その日 1 日限りの診察となったことは残念でしたが、定期的に診察をしている主治医が患者さんと信頼関係を築いた上で診察されているのが印象的でした。アドヒアランスの悪い患者さんに対しては時間をかけて診察と説明を行い、治療効果へと繋げている症例では、一人一人に対して時間をかけて向き合える診療所ならではの医療だと感じました。時間のない中でも、同様に患者さんと向き合わないといけないと再確認させられました。多くの診療所は山間にあり、海、海鮮のイメージが強かった紀南病院研修でしたが、草木の匂いや気持ちのいい風で、仕事であることを忘れてしまう程でした。今度は休日にゆっくり訪れたいと思います。一番印象的であったのは救急外来を受診した脳梗塞患者さんがそのまま自宅で見取りの方針となった症例です。治療回復の見込みがなく、家族の希望で自宅見取りと決定してから、帰宅まで約 1 時間。地域の開業医や地域連携室との日頃からの連携があり、スムーズな手続きの進行に驚かされました。今回の研修では、何に対応する時でも、地域や患者さんの背景に目を向けて対応する大切さを学びました。今後高齢化がさらに進行し、今までより多くの患者さんに対して、そのように接することが求められる機会が増えると思います。今回の経験を研修期間、その先専門医期間で活かしていきます。ありがとうございました。



市立四日市病院 研修医 2 年目 金川 弦暉

紀南病院での地域医療研修は、想像以上に刺激的なものになりました。短い間でしたが、指導医の谷口先生をはじめとする諸先生方や病院スタッフの方々には大変お世話になりました。紀南病院での内科研修を主体として、紀和診療所や訪問診療でも研修させていただきました。紀南病院では高齢独居・老老介護世帯の患者が多いのが印象的でした。医療スタッフ全員が介護保険・サービスに詳しく、地域包括ケア病棟を有効活用して切れ目のない医療が提供されていました。「病氣」だけでなく、患者の医療・福祉の問題をトータルで解決するという共通認識があるように感じました。「人を診る」とはよく言われていますが、ここでの診療がまさに当てはまると思います。診療所・訪問診療研修では、一人ひとりの患者の生活・人生に寄り添った医療が提供されており、地域に根差したオーダーメイドの医療に感銘を受けました。また、医療・介護サービスの介入が難しい地域もあり、今後個人に依存しない担い手の確保などの課題も目の当たりにしました。来年度は厚生労働省で医系技官として勤務予定です。今回の地域医療研修での経験を活かし、地元三重に少しでも貢献できるように尽力していきます。1ヶ月間ありがとうございました。



三重大学医学部附属病院 研修医 2 年目 長嶋 一訓

紀南病院で研修させて頂いて 4 ヶ月目に突入いたしました。外科 1 ヶ月と内科 2 ヶ月研修させて頂きました。7 月にこの研修新聞を書かせて頂いた時は、まだ病院に慣れておらず、看護師さんをはじめとするメディカルスタッフの方々と上手くコミュニケーションが取れず、迷惑をかけてばかりだったと思います。しかし、月日を重ねるごとにカルテ操作や救急外来などの対応に慣れ、少しは力になれるようになってきたと思っております。9 月は地域医療として紀和診療所に 3 日間行かせて頂きました。地元民ながら中々紀和の方には行く機会がないので、訪問診療にも同行させて頂きました。深夜 4 時の電話でも自宅から看護師さんが対応して『心配せんといつでも頼ってええんやで』と仰っていて、この地域にとっては無くてはならない診療所だと改めて実感しました。また、8 月中旬から全力でダイエットに励んでおり、研修終わる頃には見違えるほどのべっぴんさんになれるよう頑張りたいと思いますので、応援宜しくお願い申し上げます。来年 1 月まで研修させて頂きますので、残り 4 ヶ月間ご指導の方宜しく願います。

